

広島大学

令和 8 年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜Ⅱ型

解答例・出題の意図等

理学部 数学科

科目名：筆記試験

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和 8 年度 広島大学光り輝き入試 総合型選抜 「筆記試験問題」出題の意図

光り輝き入試 総合型選抜 理学部数学科の第 2 次選考筆記試験では、複数の解法を認めて採点の公平性を保ち、思考力を評価するため、解答例は提示していません。

[1] 微分法と積分法に関する基礎的な概念を理解し、使いこなせるかどうかを見る問題です。(1) と (2) は微分に関する基本事項を用いて、極値を調べる論証力が要求されています。(3) では微分可能性の定義の理解が問われています。(4) は定積分を求めるための計算力・論証力が要求されています。

[2] 図形やベクトルに関する基礎的な概念を理解し、使いこなせるかどうかを見る問題です。与えられた条件をベクトルを用いて表現する能力や、2 直線の交点を求める計算力が要求されています。